

近畿地方整備局 足羽川ダム 工事事務所
資料配布

配布日時	平成28年 6月24日
------	-------------

件名	第9回「九頭竜川水系足羽川ダム事業費等監理委員会」 の結果概要について
----	--

概要	●ダム事業の実施状況やコスト縮減・工期短縮等について 意見と助言を得るため、委員会を開催しました。 ●委員会の結果概要は、別紙のとおりです。
----	--

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 電話 0776-27-0642 (代表) 副所長 小林 正治 調査設計課長 人見 剛
------	--

第9回 九頭竜川水系足羽川ダム 事業費等監理委員会の結果概要について

1. 開催日時：平成28年6月24日（金） 15:00～16:30
2. 開催場所：足羽川ダム工事事務所 1階 第1会議室
福井市成和1丁目2111
3. 委員：◎荒井克彦（福井大学名誉教授）
桑原美香（福井県立大学経済学部 准教授）
佐々木一英（土木研究所 水工研究グループ グループ長）
角哲也（京都大学 防災研究所
水資源環境研究センター教授）

◎ 委員長（*50音順・敬称略）

4. 結果概要

●委員からのご意見及び助言

- ダム本体設計について、巡航RCD工法などの新技術・新工法を踏まえた検討を進めることにより工期短縮ができた場合、導水トンネルがクリティカルとなるため呑口および吐口からの施工についても検討すること。
- 魚道設置について、魚の遡上時期や産卵場所などの習性を考慮して検討すること。
- 貯水池内樹木の伐採について、個別に伐採箇所を抽出して具体的な検討をすること。
- 洪水後の放流について、種々のケースの水位低下速度に応じた貯水池法面の安定検討を行うこと。
- 工事用道路の工程は本体工事他の実施タイミングを考慮して適切に管理すること。
- 橋梁形式から土工形式への変更においては、適切に沢部の水処理をするなど自然災害による手戻りが生じないように検討すること。
- 伐採木の処理にあたっては、県内のバイオマス事業などへの活用を検討すること。